

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋芸術大学保育専門学校
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	保育科	夜・通信	17	6	
	保育科第二部	Ⓝ夜通信	10	6	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

名古屋芸術大学保育専門学校ホームページにおいて公表 https://nua-hosen.ac.jp/wp-content/uploads/2021/07/実務経験教員一覧.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 該当学科なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋芸術大学保育専門学校
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

名古屋芸術大学ホームページにて公表 http://www.nua.ac.jp/relation/disclosure/pdf/yakuin.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師	令和3年6月 11日～令和5 年6月10日	組織運営体制への チェック機能 経営計画の策定
非常勤	会社代表取締役	令和3年6月 11日～令和5 年6月10日	組織運営体制への チェック機能 ガバナンス強化
非常勤	会社代表取締役	令和3年6月 11日～令和5 年6月10日	組織運営体制への チェック機能 経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋芸術大学保育専門学校
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 教職課程コアカリキュラムの考え方・内容、指定保育士養成施設の指定及び運営の基準改正を踏まえて、シラバスを作成している。 シラバスの項目として、①授業の到達目標及びテーマ ②授業の概要 ③授業の流れ ④教科書及び参考資料 ⑤学生に対する評価 の5項目として具体的に作成している。 作成したシラバスは、毎年4月1日から本校ホームページで公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	名古屋芸術大学保育専門学校ホームページにて公表 https://nua-hosen.ac.jp/wp-content/uploads/2021/07/シラバス.pdf
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各科目のシラバスの「⑤学生に対する評価」において、具体的に評価内容(試験、レポート、ワークシート、態度等)を示している。 さらに、「成績評価および単位の認定に関する規定」により、成績評価、単位取得認定を適正に行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価においては、「成績評価および単位の認定に関する規定」を定め、100点法により採点し、4段階区分（優：80点以上、良：79～70点、可：69～60点、不可：60点未満）及び失格（出席2／3未満）としている。</p> <p>単位の認定は、優、良、可であり、不可、失格は認定されない。各科目において、5段階の分布を作成し、自分の成績の相対的な位置づけを認識し、意欲的に学修を進めていくことができるようにしている。</p> <p>この規程は、学生便覧に掲載している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	全学年及び教員に配付している学生便覧において公表している。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 「進級及び卒業認定に関する規定」を定め、規定に従って適切に進めている。</p> <p>卒業を判定するための認定委員会（校長、副校長、科長、教学主任、卒業学年担任）を設置し、卒業に必要な科目の単位取得ができているかを判定する。</p> <p>この規程は、学生便覧に掲載している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	全学年及び教員に配付している学生便覧において公表している。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋芸術大学保育専門学校
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	名古屋芸術大学ホームページで公表 http://www.nua.ac.jp/relation/disclosure/pdf/finance/keisan_2021.pdf
収支計算書又は損益計算書	名古屋芸術大学ホームページで公表 http://www.nua.ac.jp/relation/disclosure/pdf/finance/keisan_2021.pdf
財産目録	名古屋芸術大学ホームページで公表 http://www.nua.ac.jp/relation/disclosure/pdf/finance/keisan_2021.pdf
事業報告書	名古屋芸術大学ホームページで公表 http://www.nua.ac.jp/relation/disclosure/pdf/finance/keisan_2021.pdf
監事による監査報告（書）	名古屋芸術大学ホームページで公表 http://www.nua.ac.jp/relation/disclosure/pdf/finance/keisan_2021.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	保育科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	87 単位	33単位	42単位	11単位	0単位	1単位
			単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		16人	0人	8人	11人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教職課程コアカリキュラムの考え方・内容及び指定保育士養成施設の指定及び運営の基準改正を踏まえてシラバスを作成し、各学年の授業科目を決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 「成績・評価および単位の認定に関する規定」を定め、100点法により4段階（優・良・可・不可）及び失格で評価している。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>「成績・評価および単位の認定に関する規定」を定め、規定に従って適切に進めている。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任を窓口として個別相談・指導を実施している。内容により、科長、副校長、学校カウンセラー、保護者と協力して進めている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	29人 (90.6%)	3人 (9.4%)
(主な就職、業界等) 幼稚園・保育所・福祉サービス事業			
(就職指導内容) 時間割の中に「基礎演習」（前・後期）の時間を位置づけ、この中で就職状況、就職までの流れ、公立・私立・県外採用試験について、就職希望調査等の指導をしている。さらに、説明会の開催、個別相談等を実施している。特別講座として面接・論文等の指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 幼稚園教諭2種免許状、保育士資格、幼児体育指導者検定（希望者のみ）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	14人	22.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の理由、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による早期個別相談の実施、学生支援会議を開催し、全教員が情報共有を図りながら、学修・生活面での支援の実施		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	保育科第二部	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜間	87 単位	33単位	42単位	11単位	0単位	1単位
			単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
25人	11人	0人	8人	11人	19人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教職課程コアカリキュラムの考え方・内容及び指定保育士養成施設の指定及び運営の基準改正を踏まえてシラバスを作成し、各学年の授業科目を決定している。
成績評価の基準・方法
（概要） 「成績・評価および単位の認定に関する規定」を定め、100点法により4段階（優・良・可・不可）及び失格で評価している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 「成績・評価および単位の認定に関する規定」を定め、規定に従って適切に進めている。
学修支援等
（概要） クラス担任を窓口として個別相談・指導を実施している。内容により、科長、副校長、学校カウンセラー、保護者と協力して進めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 幼稚園・保育所・児童福祉施設・一般企業			
（就職指導内容） 就職指導として就職状況、就職までの流れ、公立・私立・県外採用試験について、就職希望調査等の指導をしている。さらに、説明会の開催、個別相談等を実施している。特別講座として面接・論文等の指導を行っている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 幼稚園教諭2種免許状、保育士資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	2人	9.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による早期個別相談の実施、学生支援会議を開催し、全教員が情報共有を図りながら、学修・生活面での支援の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
保育科	200,000円	630,000円	210,000円	
保育科第二部	150,000円	420,000円	140,000円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 名古屋芸術大学保育専門学校ホームページ https://nua-hosen.ac.jp/uploads/2021/06/3H31 学校評価報告書提出用).pdf
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 「名古屋芸術大学保育専門学校関係者評価委員会内規」に従って、学外委員4名(卒業生代表、保護者代表、地域関係者代表、保育・教育関係施設職員)で構成している。会議は年2回開催し、①教育理念・目標・育成人材像等、②学校運営、③教育活動、④教育成果、⑤学生支援、⑥教育環境、⑦学生募集と受け入れ、⑧財務、⑨法令等の遵守、⑩社会貢献の10項目について評価している。学校の教職員が自己評価した結果について、学外委員に評価していただいている。委員会の議事録はホームページで公表している。評価結果や学外委員から指摘された事項については教師会で検討し、次年度の学校運営に反映させている。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人葵学園 葵名和幼稚園理事長	R3. 4. 1～R4. 3. 31 (1年)	卒業生代表
社会福祉法人NUA たきこ幼稚園前園長	R3. 4. 1～R4. 3. 31 (1年)	保育・幼児教育関係代表者
名古屋芸術大学保育専門学校 後援会長	R3. 4. 1～R4. 3. 31 (1年)	保護者代表
名古屋市昭和区民生・児童委員	R3. 4. 1～R4. 3. 31 (1年)	地域関係者代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 名古屋芸術大学保育専門学校ホームページ https://nua-hosen.ac.jp/uploads/2021/06/3H31 学校評価報告書提出用).pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 名古屋芸術大学保育専門学校ホームページ (nua-hosen.ac.jp)
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	名古屋芸術大学保育専門学校
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		7人	4人	7人
内 訳	第Ⅰ区分	4人	0人	
	第Ⅱ区分	1人	0人	
	第Ⅲ区分	2人	4人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				7人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	2人
3月以上の停学	0人
年間計	2人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。